阪神高速道路株式会社

入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 淀川左岸線工業用水導水施設等撤去工事 質問提出日:2020年 2月17日 質問回答日:2020年 2月25日	
質 問	回 答
番号1 内訳書-1 作業土工 掘削について、特記より施工ヤード内に仮置と記載がありますが、整地は考慮されていますか。ご教示ください。	番号1 標準案では整地については考慮していませんが、契約後に現地条件等により必要となった場合は協議の対象とします。
番号2 内訳書-1 作業土工 埋戻しの購入土について、土量変化率は考慮すると考えてよろしいでしょうか。その場合の土量変化率は土木工事標準積算第2章 土工 2-6頁 表①-2-2によるレキ質土または砂及び砂質土と考えるとよろしいでしょうか。異なる場合は想定されている主要区分をご教示ください。	番号2 標準案ではご質問のとおり、土量変化率については考慮しています。なお、詳細については土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)第2編第2章①土工変化率等を参考に、貴社にてお考えください。
番号3 内訳書-1 作業土工 土のうについて、適用欄の「土のう解体費」とは「土のうの撤去費」「土のうの中詰め材の処分費(積込、運搬含む)」「土のう袋の空袋処分費(積込、運搬含む)」でしょうか。異なる場合は想定されている歩掛をご教示ください。	番号3 標準案では中詰め材については流用土を用いることとしており、解体についてはその場で土のうより土を取り出すことのみを考えています。また、解体後の中詰め材はそのまま埋戻土として用いるので、ご質問のような「土のうの撤去費」「土のうの中詰め材の処分費(積込、運搬含む)」は計上していません。なお、標準案では土のう袋の空袋処分費については計上していませんので、契約後に設計変更で追加することを考えています。
番号4 内訳書-1 作業土工 土のうの中詰め材の処分費について、特記仕様書に記載の第3章 作業残土処理と同様と考えるとよろしいでしょうか。ご教示ください。	番号4 上記回答番号3のとおりです。

質 問	回 答
<p>番号5 内訳書-1 作業土工 土のうの空袋処分費について、「廃プラスチック類」と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は想定されている名称をご教示ください。</p>	<p>番号5 上記回答番号3のとおりです。</p>
<p>番号6 内訳書-1 作業土工 土のうの空袋処分費について、積込、運搬は土木工事標準積算基準 第2編 第3章 ④普通トラックによる資機材の運搬によると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号6 上記回答番号3のとおりです。</p>
<p>番号7 内訳書-1 作業土工 大型土のう 1t/袋(普通型)について、空袋処分は1袋あたり何kgを想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号7 上記回答番号3のとおりです。</p>
<p>番号8 内訳書-1 作業土工 大型土のう 1t/袋(普通型)について、耐候性大型土のうの耐用年数は不要のため普通型を採用と考えてよろしいでしょうか。もしくは耐候性のある普通型大型土のう(物価資料以外)を想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号8 標準案では普通型を採用することを考えています。</p>
<p>番号9 内訳書-1 作業土工 作業土工について、不陸整正費は未計上と考え、必要な場合は協議の対象とさせていただきますか。ご教示ください。</p>	<p>番号9 標準案では不陸整正費は計上していませんが、契約後に現地条件等により必要となった場合は協議の対象とします。</p>
<p>番号10 特記仕様書 4頁 第3章 作業残土処理 内訳書-1 作業土工及び内訳書-4鋼矢板工での作業残土について、特記仕様書 4頁 3-1「本工事で発生する掘削土は、施工ヤード内に仮置する」と記載がありますが、仮置場⇄現場までの積込・運搬等の費用は本工事では未計上と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号10 標準案では流用土については、掘削箇所近傍に仮置きした土砂を直接埋戻しに使用できると考えていますので積込運搬費は計上していません。</p>
<p>番号11 内訳書-2 構造物撤去工 殻運搬処理 RC-40について、殻運搬費は土砂等運搬で計上すると考えてよろしいでしょうか。異なる場合は、想定されている歩掛をご教示ください。</p>	<p>番号11 標準案ではダンプトラックにより運搬することを考えていますが、個別の歩掛については提示いたしません。</p>

質 問	回 答
<p>番号12</p> <p>内訳書-2 構造物撤去工</p> <p>松杭引抜きについて、質問回答受付番号13(2019年12月16日回答)よりテレスコクレーンベースとご回答がありますが、標準案で杭抜き機のベースマシンは何t吊を想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号12</p> <p>本工種は「見積書審査方式の試行工事」である本工事の対象工種であるため、競争参加資格通知時に公表する内容を参照のうえ、貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号13</p> <p>内訳書-2 構造物撤去工</p> <p>松杭引抜きについて、杭引抜き用クレーンは計上されていますか。その場合、何t吊を想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号13</p> <p>上記回答番号12のとおりです。</p>
<p>番号14</p> <p>内訳書-2 構造物撤去工</p> <p>松杭引抜きについて、相番クレーンは計上されていますか。その場合、何t吊を想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号14</p> <p>上記回答番号12のとおりです。</p>
<p>番号15</p> <p>内訳書-2 構造物撤去工</p> <p>松杭引抜きについて、引抜孔埋戻しは①土砂、②砂、③セメントミルクのいずれを想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号15</p> <p>標準案では土砂(流用土)による埋戻しを想定しています。</p>
<p>番号16</p> <p>内訳書-2 構造物撤去工</p> <p>産業廃棄物処理について、木くず1本当りの質量をご教示ください。</p>	<p>番号16</p> <p>上記回答番号12のとおりです。</p>
<p>番号17</p> <p>12月20日回答 番号2</p> <p>民地側の土留鋼矢板について、転用を考慮されているとのことですが、①鋼矢板の小運搬費を計上、②鋼矢板の小運搬費用は共通仮設費の率に含む、のいずれでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号17</p> <p>②のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号18</p> <p>12月20日回答 番号2</p> <p>上記の①の場合、小運搬費用の算出方法は、土木工事標準積算基準 第4章 4-13頁 (4)鋼矢板運搬費のうち、小運搬質量及び、第1章 1-9頁 1-6場内用トラック運転により計上すると考えてよろしいでしょうか。異なる場合は算出方法をご教示ください。</p>	<p>番号18</p> <p>上記回答番号17の回答のとおりです。</p>

質 問	回 答
<p>番号19 内訳書-4 鋼矢板工 鋼矢板(河川側及び民地側)のうち、布掘について、「圧入前」と「引抜き前」のいずれとも「床掘、土砂、標準、土留無し」と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は想定されている歩掛をご教示ください。</p>	<p>番号19 標準案では布掘について、「圧入前」と「引抜き前」のいずれとも「掘削、土砂、小規模」と考えていますが、個別の歩掛については提示しません。</p>
<p>番号20 内訳書-4 鋼矢板工 鋼矢板(河川側及び民地側)のうち、埋戻しについて、「圧入前」と「引抜き前」のいずれとも「最小埋戻し幅4m以上」と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は想定されている歩掛をご教示ください。</p>	<p>番号20 標準案では埋戻しについて、「圧入前」と「引抜き前」のいずれとも「幅1.0m未満」と考えていますが、個別の歩掛については提示しません。</p>
<p>番号21 内訳書-4 鋼矢板工 鋼矢板の賃料について、VL型を使用するため、土木工事標準積算基準 第4章 土留及び仮締切工 4-12頁 (2)鋼矢板賃料に準じないと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号21 標準案では「土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)第2編 第4章 土留及び仮締切工 4土留工賃料及び修理費等の算出要領 (1)適用範囲」に記載のとおり本工事はフーチング工事ではないので、(2)の鋼矢板賃料には準じていません。</p>
<p>番号22 数量総括表 4/8ページ 仮設工 鋼矢板工 「鋼矢板 VL型 L=13.0m」「単位;m」の数量について、平面mの数量に鋼矢板 L=13.0mを乗じた数量になりませんが、この通りと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号22 標準案では鋼矢板は1枚当たり13.0mとしていますので、鋼矢板「枚数」を乗じたものを「鋼矢板 VL型 L=13.0m」「単位;m」の数量としています。</p>
<p>番号23 内訳書-4 鋼矢板工 民地側の鋼矢板の転用について、1,2工区の鋼矢板648.375tのうち416.325tを3,4工区に転用し、648.375tから416.325tを差し引いた232.05tは転用しないと考えるとよろしいでしょうか。異なる場合は転用の考え方をご教示ください。</p>	<p>番号23 鋼矢板の転用計画の詳細については、特記仕様書別紙-1工程表(参考)を参考に貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号24 内訳書-4 鋼矢板工 上記に続き、3,4工区の416.325tを5工区に転用し、合計2回の転用と考えるとよろしいでしょうか。異なる場合は転用の考え方をご教示ください。</p>	<p>番号24 鋼矢板の転用計画の詳細については、特記仕様書別紙-1工程表(参考)を参考に貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号25 2月13日回答 受付番号27-番号35 内訳書-4 鋼矢板工 機械据付解体費について、回答 受付番号27 番号35より、N値をご回答いただきましたが、Nmax値により、歩掛が異なります。河川側、民地側合わせて、Nmax ≤ 25で何回、Nmax ≤ 50で何回計上されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号25 機械据付解体の回数については、特記仕様書別紙-1工程表(参考)を参考に貴社にてお考えください。</p>

質 問	回 答
<p>番号26 内訳書-4 鋼矢板工 転用する鋼矢板賃料のうち、1現場当り修理費及び損耗費について、「軽作業」「標準作業」が混在する場合、どれを採用すればよいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号26 土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)第1編第4章仮設用材損料算定基準を参考に貴社にてお考えください。</p>
<p>番号27 内訳書-4 鋼矢板工 棲部土留鋼矢板について、土木工事標準積算基準 第4章 4-45頁 6 軽量鋼矢板には国土交通省 軽量鋼矢板設置・撤去によると記載がありますが、本工事では設置のみの計上です。設置・撤去の歩掛に係数を乗じて積算すると考えてよろしいでしょうか。その場合、係数をご教示ください。</p>	<p>番号27 当社公表の土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)に記載のない歩掛については、貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号28 内訳書-5 工事用道路工 盛土について、土木工事標準積算基準 第2章 土工 2-29頁 3-4路体(築堤)盛土と考えるとよろしいでしょうか。その場合、条件区分は「施工幅員4.0m以上、施工数量10,000m3未満、障害の有無;有り」でよろしいでしょうか。異なる場合は想定されている条件区分をご教示ください。</p>	<p>番号28 標準案では、「土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)第2編第2章②土工3施工パッケージ3-5路床盛土」で考えており、条件区分は「平均幅員4.0m以上、施工数量10,000m3未満、障害の有無は無し」で考えています。</p>
<p>番号29 内訳書-5 工事用道路工 砕石について、適用欄に「敷均し費を含む」と記載がありますが、「締固め費」は含まないと考えてよろしいでしょうか。その場合、適用される歩掛は①土木工事標準積算基準 第2章 土工 2-28頁 3-3 整地 敷均し(ルーズ)、②同基準 第14章 14-13頁表⑤-1-2 工事用仮道路のいずれでしょうか。①②と異なる場合は想定されている歩掛をご教示ください。</p>	<p>番号29 標準案では、ご質問のとおり「締固め費」は含んでいません。また、標準案の適用歩掛についてはご質問の②を考えています。</p>
<p>番号30 内訳書-5 工事用道路工 上記の②を適用される場合、表⑤-1-2について、工事規模が大とし、歩掛は1m3当りと考えるとよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号30 標準案では工事規模は「大」と考えていますが、詳細の歩掛については、まき出し厚を考慮のうえ、貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号31 内訳書-5 工事用道路工 上記の②を適用される場合、表⑤-1-2について、機械「排出ガス対策型(第1次基準値)ブルドーザ(9t級)」は、建設機械等損料表の何欄を計上すればよいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号31 個別の単価については、提示しませんので貴社においてお考えください。</p>

質 問	回 答
<p>番号32</p> <p>内訳書-5 工事中道路工</p> <p>上記の②を適用される場合、表⑤-1-2について、特殊運転手と軽油は未計上と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号32</p> <p>標準案では運転労務費、燃料費については計上しています。</p>
<p>番号33</p> <p>内訳書-5 工事中道路工</p> <p>上記の②を適用される場合、表⑤-1-2について、クラッシュランのロス率をご教示ください。</p>	<p>番号33</p> <p>標準案ではブルドーザーにての敷均しのみを考えておりクラッシュランのロスは考慮していません。なお、現地状況により締固めが必要となった場合はクラッシュランのロスを含めて設計変更します。</p>
<p>番号34</p> <p>内訳書-5 工事中道路工</p> <p>工事中道路工について、不陸整正工は未計上と考え協議の対象とさせていただけますでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号34</p> <p>標準案では不陸整正工は計上していません。契約後に現地条件等により必要となった場合は協議の対象とします。</p>
<p>番号35</p> <p>内訳書-7 技術管理費</p> <p>Hi TeLus(ハイテラス)について、現場管理費及び一般管理費等の対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号35</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号36</p> <p>2月13日回答 受付番号27-番号43</p> <p>内訳書-6 運搬費</p> <p>重建設機械分解組立輸送費について、「クローラークレーン35t吊以下」は、松杭引抜きにおけるテレスコピックベース(オーガケーシング工法用)と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は想定されているクローラークレーン35t吊以下の使用工種をご教示ください。</p>	<p>番号36</p> <p>土木工事標準積算基準(阪神高速道路(株)2019年7月)第1編第2章工事価格③間接工事費3共通仮設費(建設・保全)3-5重建設機械分解・組立・運搬 3-5-1適用範囲を参考に貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号37</p> <p>2月13日回答 受付番号27-番号43</p> <p>内訳書-6 運搬費</p> <p>重建設機械分解組立輸送費について、「クローラークレーン35t吊以下」のみで、それ以外の標準案における松杭引抜きでの「相番クレーン」「杭引抜き用クレーン」は計上しないと考えるとよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号37</p> <p>上記回答番号36の回答のとおりです。</p>
<p>番号38</p> <p>2月13日回答 受付番号27-番号43</p> <p>内訳書-6 運搬費</p> <p>重建設機械分解組立輸送費について、「クローラークレーン35t吊以下」の計上回数は、①第1、2工区で4班、第3、4工区で4班、第5工区で4班とし、合計12回計上する、②全工区を通じて4班計上+1、2工区から3、4工区及び3、4工区から5工区への待機中の賃料または損料を計上、のいずれを想定されていますか。①②と異なる場合は想定されている回数をご教示ください。</p>	<p>番号38</p> <p>重建設機械分解組立輸送費の詳細については、特記仕様書別紙-1工程表(参考)を参考に貴社にてご検討ください。</p>

質 問	回 答
<p>番号39</p> <p>2月13日回答 受付番号27-番号43 内訳書-6 運搬費</p> <p>上記の②の場合、待機中の賃料または損料は①損料15欄適用、②損料11欄適用、③賃料のいずれでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号39</p> <p>上記回答番号38のとおりです。</p>
<p>番号40</p> <p>2月13日回答 受付番号27-番号43 内訳書-6 運搬費</p> <p>重建設機械分解組立輸送費について、「クローラークレーン35t吊以下」は排出ガス対策は何基準を想定されていますか。ご教示ください。</p>	<p>番号40</p> <p>上記回答番号36の回答のとおりです。</p>
<p>番号41</p> <p>内訳書-6 運搬費</p> <p>仮設材運搬費について、標準案における内訳数量をご教示ください。</p>	<p>番号41</p> <p>標準案では鋼矢板の転用計画をもとに算出していますので、転用計画と同様に特記仕様書別紙-1工程表(参考)を参考に貴社にてご検討ください。</p>
<p>番号42</p> <p>一般管理費等</p> <p>一般管理費等率算定式は「前払40%の工事」と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号42</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号43</p> <p>一般管理費等</p> <p>契約保証費の適用について、「発注者が金銭的保証を必要とする工事の場合」と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号43</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号44</p> <p>労務単価</p> <p>2月12日回答 受付番号27-番号7より、適用単価月は令和2年3月とありますが、国交省より令和2年3月より適用する労務単価が公表されています。労務単価も同様に令和2年3月単価と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>番号44</p> <p>ご質問のとおりとお考えください。</p>
<p>番号45</p> <p>2月12日公表 修正済みデータ</p> <p>公表されました「特記仕様書 20191210修正版」について、2019年12月10日公表「特記仕様書 20191210修正版」との正誤表をご教示ください。</p>	<p>番号45</p> <p>ご質問の修正の正誤表については、2019年12月10日掲載の受付番号6の質問回答書「番号5」に記載されています。</p>
<p>番号46</p> <p>2月12日公表 修正済みデータ</p> <p>公表されました「設計図」と、当初設計図との正誤表をご教示ください。</p>	<p>番号46</p> <p>本工事では設計図の修正は行っておりませんので正誤表はありません。</p>